

平成27年度 総合福祉施設「京都桂川園」事業報告書

1 事業総括

1) 介護保険制度、障害者総合支援法の改正での経営や運営への影響

介護保険制度改正で利用者の2割負担化、補足給付の受給要件の厳格化、特養入所対象者を要介護3以上に限定など制度が大きく変化しました。利用者へのていねいな説明に努め、混乱なく経過することが出来ました。介護報酬が2.27%減となり、全体では大幅な減収予測でスタートしました。特養、デイの処遇改善加算Ⅰ、デイでの個別機能訓練体制Ⅱ、居宅の特定事業所加算Ⅱなど要件の合致する加算を積極的に取得し、減収は小幅となりました。また利用者ニーズには細かに対応し90%後半の稼働率維持や、比較的高い要介護度の方の利用が多かったことなども減収を小さくした要因でした。

障害者総合支援法は報酬改定±0%で、制度改正でも現行事業に大きな影響を与えるものではありませんでした。管理栄養士。看護職員の体制が整い、栄養マネジメント加算、常勤看護師看護職員配置加算、処遇改善加算など新たな加算を取得し増収となりました。特に開所2年目の久世障害デイ・ショートは、予算達成とはなりませんでしたが、ゆるやかに稼働率はアップし年度末には80%近い数字になりました。全体では+5,500万円程度の収支差となりました。

今後も、介護報酬がプラス改定となる見通しは低い状況で、厳しい経営は続くと推測されます。そのような経営予測がされる中で、開所17年を経過し設備・建物の経年劣化でのメンテナンス費用、福祉人材不足の社会状況の中での人材確保や定着・育成での課題、給与体系の再考などの検討が必要です。また指定管理制度での空調や外壁工事などの大規模なメンテナンスにおいては京都市と、年度を挟んでの事前協議が必要です。計画的に進めるために準備をしていきます。

2) 人材の確保と育成・定着、組織体制、当事者視点

福祉人材確保と定着の困難性は、年を増すごとに深刻になってきました。採用した職員の定着に苦慮しました。今年度より開始した「新人職員育成ハンドブック」に基づき指導にあたりました。しかし、特に入所系部署で新人職員の入れ替わりが多く、副主任会議を中心に評価を加えながら体制を整備し、下半期からは安定してきました。職員の定着を図る取組として職員のいいケアなどを評価する「いいねノート」なども行い効果的でした。魅力があり、現場の課題に即した研修を現場職員が講師となり多数開催しました。当事者主体、個別支援をさらに充実する事例検討やTQM研修なども実施しました。人材確保・経営安定化に向けて今年度より副園長補佐を配置し3トップ体制としました。初年度でもありその有効性はこれからです。11月には「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証を受けました。

当事者視点では、利用者や家族から聴取した思いの聞き取りから、残存機能を活かした新たな個別性のあるサービス活動が展開され、満足度調査でも高い評価をいただきました。事例検討会なども開始し、より個別性を重視した支援の展開を次年度も進めていきます。

人材育成・定着は緒についたばかりです。前への歩みを止めることなく、人材育成は福祉やサービスの質のコアな部分と認識しています。外部研修や法人内会議で他事業所の状況などを加味しながら、職員と共に現場に即した研修体系や、働きやすい職場作りをしていきます。

3) 中長期計画の進捗—入浴プロジェクト

平成31年度までの中長期計画の実施では、入浴プロジェクトから始めました。副主任会議を中心に快適で安全性の高い入浴について検討しました。その結果、ミスト浴機器が利用者の重度化や、職員の腰痛予防などで効果的で移動可能な機器であることがデモ機の使用を経て結論となり、次年度購入予定としました。この機器は国の「介護従事者の負担軽減に資する介護ロボット導入促進事業」の対象機器で申請をしました。

桂川園らしさ(カラー、イズム)が中長期計画の中心にあります。そのことの意義を部課長会議で検討しながら、法人内会議での今後の法人に求められていることと、リンクしながら、これからの事業展開や地域貢献などを協議していきます。

4) 地域包括ケアシステム・地域貢献

地域包括ケアシステムを中心的に担う地域包括支援センターでは、京都市が積極的に実施方向を指導している地域ケア会議を地域実情に沿った内容で実施しました。学区毎のケア会議では地域活動の中心である役員や関係機関の方々の認知症対応力向上に向けて、徘徊者への声かけ模擬訓練をしました。これまでの積み重ねでの成果がアンケートでも表れていました。「介護予防・日常生活支援総合事業」への対応は年度末に「新しい総合事業の基本的な考え方」案が京都市高齢者施策推進協議会から発出され概要が見えてきました。

2年目を迎えた“たまかふえ”はサービス利用の入り口として、また地域サロンとして、そして利用者さんが地域の人と触れ合う場として発展し、毎回40名近い方々の参加がありました。ボランティアによる体操や脳トレが毎回行われ参加者の楽しみになりました。老人デイ有志によるコーラス隊の発表や、療護園・特養利用者の作品展などもあり様々な生きがい交流の場となりました。

キッズボランティアは夏休みだけでなく、冬休み、放課後などにも気軽にボランティアに来てくれるようになりました。初代のボランティアが職員として働き始めたのは特筆すべきことです。

実践し、その事業の成果を分析し、地域に求められていること、桂川園がなすべきことを小さな実践から積み上げていきます。今年度はラジオ体操を毎週実施し、地域の方々の健康づくりやしゃべり場から相談へのつないでいくシステムを構築していきます。

2. 桂川園の利用者の状況

1) 特別養護老人ホーム

事業名	平均介護度	稼働日数	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	稼働率
特別養護老人ホーム(定員50名)	4.28	366日	17,343人	47.38人	94.77%
短期入所生活介護(定員4名)	3.15	366日	1,494人	4.09人	102.05%

2) 障害者支援施設

事業名	平均障害程度区分	稼働日数	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	稼働率
療護園[施設入所支援事業](定員40名)	5.8	366日	13,950人	38.1人	95.3%
療護園[生活介護事業](定員40名)	5.8	270日	10,071人	37.3人	93.3%
療護園[短期入所事業](定員4名)	5.2	366日	1,381人	3.8人	94.3%

3) 居宅介護支援事業所

事業名	プラン作成件数	平均担当件数	新規契約数	訪問調査数
居宅介護支援事業	167.6件(月平均)	34.1件	32件	114件

4) 地域包括支援センター

事業名	予防プラン作成件数	相談件数	新規契約数	訪問調査数
地域包括支援センター	3,374件	7,774件	83件	403件

5) デイサービス事業

事業名	定員	平均要介護度	稼働日数	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	稼働率
併設通常規模型 通所介護事業	30名	2.50	311日	7,849人	25.2人	97.07%
介護予防通所介護事業		—		1,208人	3.9人	
認知症対応型 通所介護事業(玉頭の家)	10名	2.74	311日	2,524人	8.1人	81.16%
生活介護事業(桂川障害デイ)	20名	4.9	260日	5,074人	19.6人	97.6%

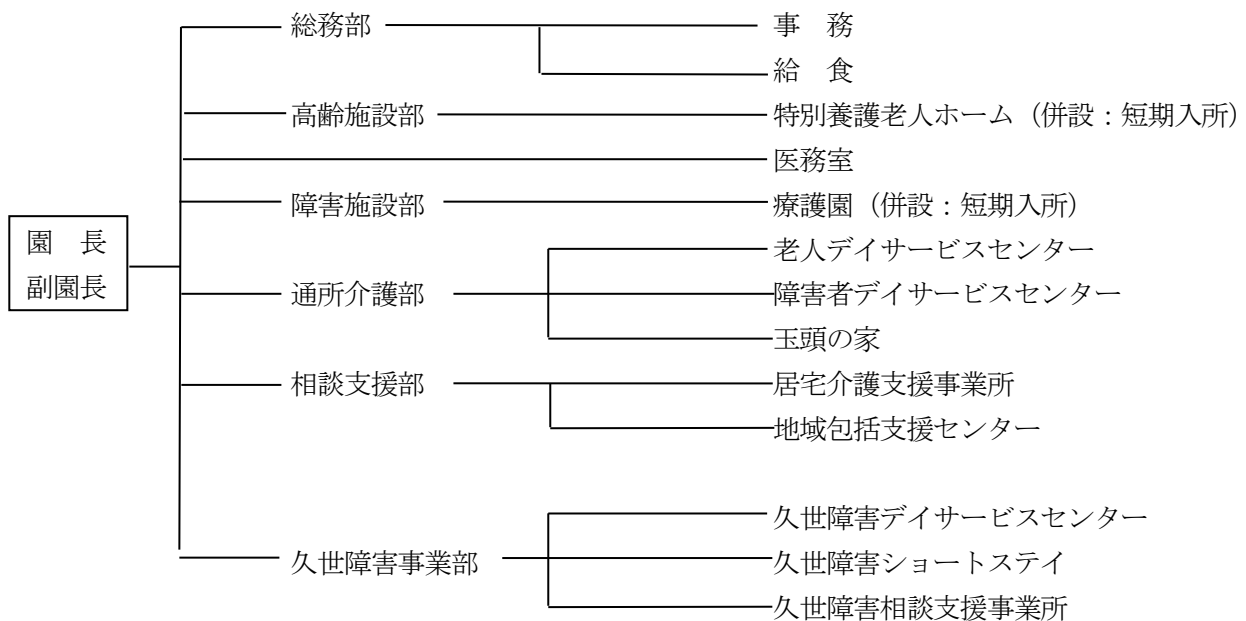
6) 久世障害事業

事業名	定員	平均障害程度	稼働日数	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	稼働率
生活介護事業（久世障害デイ）	25名	5.1	260日	3,439人	13.3人	52.9%
短期入所事業（久世障害ショート）	6名	5.1	366日	2,107人	5.8人	95.9%
久世障害相談支援所	—	—	—	30件	—	—

7) 配食サービス

事業名	稼働日数	年間延べ利用者数	1日平均利用者数
配食サービス事業 (学区：川岡東、川岡、桂東、桂徳)	262日	9,363人	35.74人

3. 平成27年度 京都桂川園体制表



4. 職員数

平成28年3月31日現在（単位：人）

事業名	正職員	非常勤職員	パート・アルバイト	派遣	合計	備考
特別養護老人ホーム	19	1	7	1	28	
療護園	21	3	7	1	32	
老人デイサービスセンター	7	4	4	0	15	
障害者デイサービスセンター	7	1	3	2	13	
居宅介護支援事業所	5	0	0	0	5	
地域包括支援センター	7	0	1	0	8	
玉頭の家	5	0	2	0	7	
久世障害事業	9	4	2	1	16	
総務部（園長・副園長を含む）	9	1	4	1	15	栄養士・運転手・洗濯機を含む
合計	89	14	30	6	139	

5. 実習の受入実績

(単位：人)

実習内容	人数	延べ人数	備考
介護・社会福祉士実習	19	252	
看護・医療実習	16	44	
栄養士実習	1	5	
介護職員初任者実習	0	0	
京都府介護等体験	11	55	
社会奉仕体験	9	34	
施設見学実習	61	61	
合 計	117	451	

6. ボランティアの活動実績

述べ人数 (単位：人)

区 分	共通	特養	療護	デｲフｰﾍﾞｽ	玉頭の家	包括	合 計
クラブ・サークル・レクリエーション等	0	29	118	121	0	86	354
日常生活補助(洗濯・食事・整容等)	764	35	22	105	21	0	947
傾聴ボランティア	0	17	0	0	0	0	17
園芸(屋上・玄関周り等)	309	0	10	0	0	0	319
近隣小学生のキッズボランティア	38	27	22	168	0	0	255
合 計	1,111	108	172	394	21	86	1,892

7. 職員研修の実績

(単位：人)

研修内容	人数	延べ人数	備考
介護に係る研修	4	12	
ケアプランに係る研修	4	8	
ケアマネジャーに係る研修	28	43	
人権、権利擁護に係る研修	4	4	
認知症に係る研修	21	24	
医療に係る研修	9	15	
栄養に係る研修	1	1	
高齢者及び障害者等の研究大会	3	5	
実習指導者に係る研修	3	10	
その他の研修	28	40	
合 計	105	162	